

令和４年度 名古屋市公共事業評価監視委員懇談会 委員からの提言

① 名古屋市における安全を確保する総合的な道路の整備（防災・安全）（緑政土木局）

- ・計画の期間に新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う外出制限期間等が含まれるため、その年の特徴として記載があるとよい。また、コロナ禍という特異な状況について整理しておく必要があるのではないか。
- ・未就学児に係る効果については、どういった記載が適切か再考すべき。
- ・今回の事業は幹線道路から生活道路まで対象となっており、通学路も含まれている。全体の死者数で評価するだけでなく、地域の声といった具体的、きめ細やかな評価があるとよい。またビッグデータの活用による評価があってもよい。

② 名古屋市における総合的な道路の老朽化対策（防災・安全）（緑政土木局）

- ・新たなMC I 3.0 未満区間の発生について、分かりやすい表現にされると良い。また成果目標と矛盾が生じているため、整合性がとれるよう見直し、次の評価に向け方向性を記載されるとよい。
- ・今後の方針等でしっかりとしたインフラとしての道路を維持していくという方向性を示されるとよい。

③ 山崎川事業間連携河川事業（緑政土木局）

- ・評価結果として河川事業のみで評価が記載されているが、下水道事業と連携することで相乗的に発現する事業効果があり、連携事業としての記載が重要ではないか。また、今後も連携していかなければならないという方向性を示されるとよい。